

文具から資源へ！みなとみらい21地区で使い終えた クリアファイルの資源循環モデル構築の実証実験を開始します

みなとみらい21地区は、横浜市と一般社団法人横浜みなとみらい21との共同提案により、令和4年4月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定され、電力の脱炭素化などに加えサーキュラーエコノミーに関する取組も進めています。

このたび、横浜市、ヨコハマ SDGsデザインセンター及び横浜ランドマークタワーなどの施設を運営管理する三菱地所株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社が連携し、使い終わり不要となったクリアファイルの回収とリサイクルによる新たな資源循環のモデル構築に向けた実証実験を開始します。

1 実証実験の概要

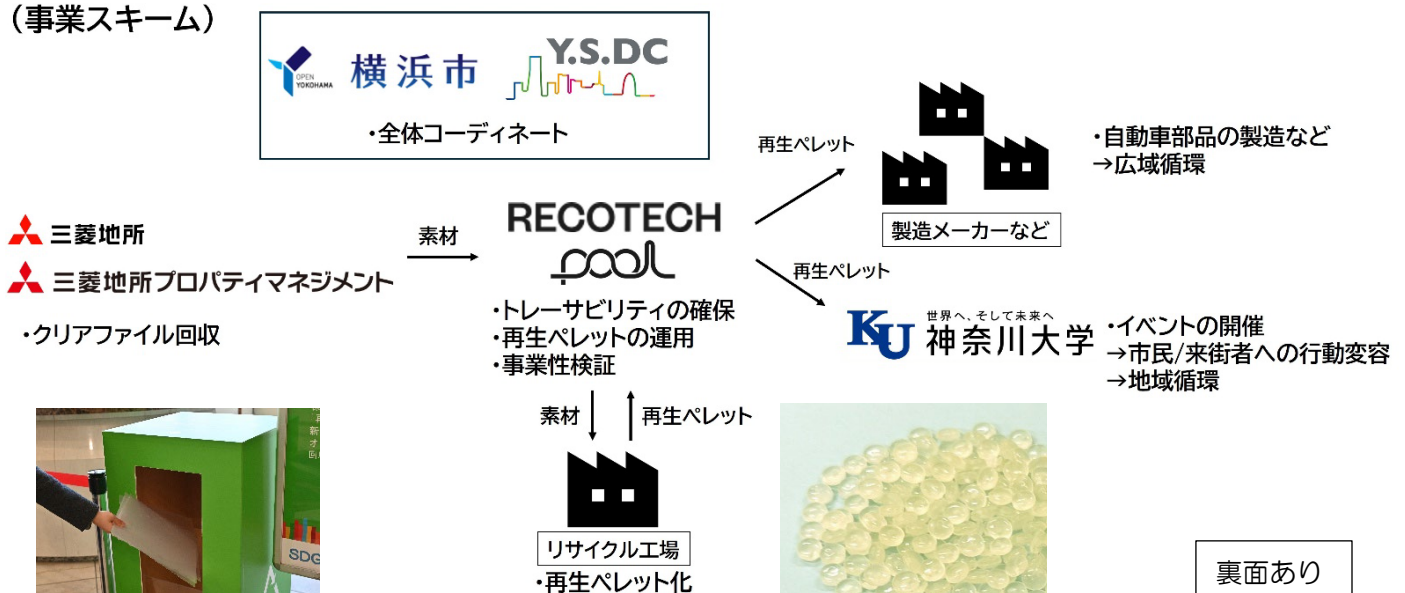
企業のオフィスが集積しているみなとみらい21地区において、オフィス用品として広く利用されるクリアファイルは、主にポリプロピレン(※)製で、異素材混合が少ないため、リサイクルに適した特性を持っています。一方で薄く軽いことから効率的な回収が難しいといった課題があります。

今回の実証では、横浜ランドマークタワー、クイーンズタワーA 及び MM パークビルで回収した使用済みクリアファイルから製造した再生ペレットを使用し、自動車部品などの製品製造に取り組みます。これにより再生ペレットの活用用途のポテンシャルや事業性を検証します。複数施設が協力することで、廃棄物に新たな価値を生み出す資源循環モデルの構築に取り組みます。さらに、みなとみらい21地区で回収したクリアファイルを地域に還元する製品づくりについても今後検討を行います。

また、再生ペレットの一部は、神奈川大学/ファブラボみなとみらいとの連携により、イベントなどでの環境教育の取組にも活用します。

※ポリプロピレン(PP)とは、クリアファイルのほか、ペットボトルのキャップや食品容器など広く使われるプラスチックで軽くて丈夫という特徴があります。

(事業スキーム)



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 イベントでの環境教育の取組

YOXO FESTIVAL2026において、不要になったクリアファイルがバッジに変身します！

ペレットを熱して溶かし、世界にひとつだけの模様のバッジをつくります。

日時：令和8年1月31日(土) 全3回

①10:30～11:30

②13:30～14:30

③15:30～16:30

場所：神奈川大学/ファブラボみなとみらい

住所：横浜市西区みなとみらい 4-5-3

(みなとみらいキャンパス1F「LAB」内)

料金：無料(要事前予約)※各回先着 10 名

申込先：<https://fablabminatomirai-yoxo2026.peatix.com>

※YOXO FESTIVAL は「横浜でみらい体験」をテーマに、企業・スタートアップ・アカデミア・個人といった多彩なイノベーター・クリエイターが一堂に会し、最先端技術や実証実験中のアイデア・ソリューションを出展・発表する、横浜未来機構主催のイベントです。

公式 HP：<https://yoxo-o.jp/yoxofestival/>



※バッジの形状は変わることがあります



3 全体スケジュール

令和8年1月31日	YOXO FESTIVAL 2026 出展
令和8年1～2月	再生ペレットを用いた製品製造
令和8年3月	事業性評価

(参考) 脱炭素先行地域とは

2050 年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030 年度までに「民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴う CO₂排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。

45の参画施設・事業者や脱炭素先行地域における取組はこちらをご覧ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html>



お問合せ先

(脱炭素先行地域の全般に関すること)	横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 循環型社会推進課長	松下 功 Tel 045-671-2636
(MM21地区のまちづくりに関すること)	(一社)横浜みなとみらい21 企画調整担当部長	樋口 和之 Tel 045-682-4404



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

